

ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKO ROTARY CLUB WEEKLY



広島空港ロータリークラブ週報

会長 鶴田幸彦 / 副会長 乗越耕司 / 幹事 橋濱智美 / SAA 河井一郎

2016年6月29日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992 E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

JULY 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 例会 例会 例会 例会

本日の例会（6月29日）

最終夜間例会

次回の例会（7月6日）

会長・幹事・SAA・委員長 活動方針

第1034回 2016年6月15日 例会記録

点 鐘…鶴田幸彦 会長

ソング…「それでこそロータリー」

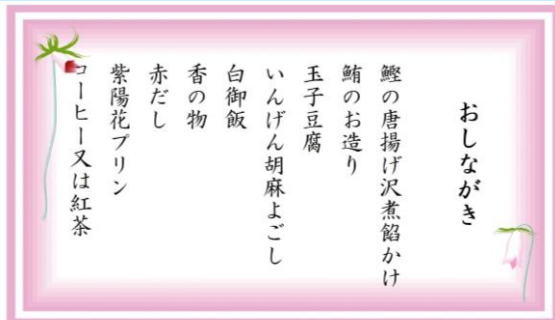
ビジター紹介

（竹原）市川重雄ガバナー補佐・木村康信補佐幹事

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (6/15)	24 1	17 1	0	7	70.83
メイク					
前々回 (6/1)	24 1	22 1	0	2	91.67
メイク					

食事時間



おしながき
 鯉の唐揚げ沢煮 鮎かけ
 鯖のお造り
 玉子豆腐
 いんげん胡麻よこし
 白御飯
 香の物
 赤だし
 紫陽花プリン
 コーヒー又は紅茶



会長時間



6月11日行いました西本願寺
 職場例会では、武野さんには大
 変お世話になりました。ありが
 とうございました。また職員の方
 々の行き届いたおもてなしで、
 大変有意義な職場例会となり
 ました。



まず国宝阿弥陀堂
 で、物故者会員6名のお参り
 をさせていただきました。



国宝御影堂を通り、書
 院に続く多くの国宝の
 間を案内され、大河ド
 ラマのオープニングで

も紹介された203畳敷きの国宝対面所、日本最古といわ
 れる国宝北能舞台、桃山時代の装飾彫刻を充満した国
 宝唐門、金閣、銀閣とともに京都三名閣の一つとされ
 る国宝飛雲閣、お茶席も設けていただき、お礼の申し
 ようもありません。





二日目は、龍安寺の庭園、真言宗の仁和寺、4月にオープンした京都鉄道博物館、清水寺と廻り、京都家族旅行を楽しみました。



どこへ行っても修学旅行生と外国人の多さに驚き、旅行はとにかく歩いて歩いてですので、皆さんお疲れになったことと思います。ご参加、本当にありがとうございました。



夕方から全員参加で古都の文化に触れるということで、お茶やさんが立ち並ぶ祇園宮川町の料亭で京都料理を楽しみました。せっかくなので舞妓さん「とし純(すみ)」さんと芸子さん「田ね文」さんに同席して頂き、ゲームで家族宴会を盛り上げて頂きました。



最後に、この度の京都職場家族例会旅行では、城南観光松本さんには大変お世話になりました。ドライバーの室井さんにも走り回ってもらい、大変恐縮しております。ありがとうございました。

さて、本日は例会終了後、理事会にて次年度の活動計画の協議があります。いよいよ松本会長の出陣です。皆さんで盛り上げて次年度も楽しいロータリー活動を行いましょう。



幹事報告

京都に行かれた方お疲れ様でした。お土産ありがとうございます。

《配布物》週報1032号・職場体験学習受入報告書

《回覧》2016年規定審議会結果検討会議

「クラブ運営に拘わる主な決定事項の確認と見解討議補足版」

会員名簿チェック表

最終夜間例会出欠表

日時 2016年6月29日(水)19:00~

第3回広島空港 RC 親睦ゴルフコンペ

日時 2016年7月10日(日)10:00 集合

地区大会仮登録 10月29日(土)30日(日)

楠部奉仕プロジェクト委員長



昨年度に続いて今年度も、広島空港ロータリークラブ会員の職場での職場体験学習受入れの記録集を作成いたしました。各事業所の従業員の方々には、貴重な資料を作成していただきましたことに、心より御礼申し上げます。

ロータリークラブでは、会員それぞれが自らの職業に励むことを通じて社会に貢献して行くという職業奉仕を、最も重視しています。また、次代を担う青少年を社会に役立つ人材として育成することを目的とした新世代奉仕も、2010年から重点課題として取り組んでいます。

最近我が国では、少子高齢化や大都市への人口集中などの人口問題を背景として、若い労働世代の生活は厳しい場合が多く、晩婚化や未婚化の傾向が続いています。せっかく結婚しても、核家族化で若い夫婦の子育ては支援を得にくい状況であり、いまや夫婦共働きが当たり前となった若い労働世代の置かれた環境は、ストレスの多いものとなっています。この様な時代の趨勢の中で、この国の将来を担う青少年、とりわけ中学生、高校生には将来、堅実な人生を歩んで生きがいのある豊かな人生を歩んでもらいたいというのが、全ロータリアン共通の願いです。

職業奉仕を実践しているロータリークラブ会員の事務所で、その地域に住む青少年の職場体験学習を受け入れることには、いくつかの意義があります。一つは、青少年に職業を持つことの大切さを理解させること、更に、職場で働く従業員の方々の仕事に対する真摯な姿勢、さまざまな工夫やチームワークに接することで、職場での人間関係の重要性に気付いてもらうこと、そして、将来自分が職業を選ぶ際に、その方向性を決める上で参考となることなどです。一方、事業所の従業員にとっても教えることは学ぶことであり、青少年のフレッシュな姿から職業に励むことの意義を改めて考える機会となります。事業所にとっては、地域の人々や学校に事業所の職業奉仕の姿勢を理解してもらう絶好の機会ともなります。

卓話時間



G9 ガバナー補佐 市川重雄様

皆さんこんにちは。1年間大変お世話になりました。兄弟クラブということで広島空港 RC へは気楽に楽しく来させていただきました。

一昨年の4月13日選考委員会の木村さんと佐渡さんがお見えになりガバナー補佐のお話がありました。その時は今ほど体調がよくなく、相当悩みましたが、お断りした後の事を考えると、選考委員会の方にご迷惑をかけるのではと思い、木村さんが幹事をやってくださるのなら何とか頑張ってみましょうという事で、お受けしますと申しました。

素晴らしい幹事でした。私が失敗しても注意も何もしないでやりやすい幹事でした。注意をされるとプレッシャーがかかるのですが、これが本当の寛容の精神だと思うのですが、相当人間が出来ている方だと思います。それと私の体の事を良く知ってくれているので、安心して努めることが出来ました。

ガバナー補佐勉強会は平成14年9月が第1回でした。私が最高齢だと思ったのですが、82歳の方がおられました。体力的にも大変だったと思います。これからガバナー補佐はだんだん忙しくなると思いますので、5.6年先には公式訪問もガバナー補佐が主催するような話も出ておりますので、そういった面でも、もう少しお若い方が、ガバナー補佐を務めるのがいいのではないかと感じています。

ガバナー補佐をして良かったのは、体の事は本当に気を付けました。風邪をひいてはいけな、転んではいけないという事がいつも頭の中にもありました。それからロータリーの文献も相当数の見させていただき、勉強をさせていただきました。下手な卓話も皆さん我慢して聞いていただきましたが、あの時に勉強したことが今は殆んど頭にありません。

先ほど会長から家族旅行のお話を伺いましたが、すごく和やかな雰囲気が目につきました。常日頃家族の理解が無ければロータリー活動は出来ません。

G9の方は素晴らしい方ばかりで、プレ公式訪問、公式訪問、いろんな所で皆様とお会いし、和やかな雰囲気でお迎えくださり、改めてロータリーを好きになりました。これからもお世話になるとは思います。どうぞよろしくお願い致します。生きていく限りロータリーを愛してまいりますのでよろしくお願い致します。どうもありがとうございました。(拍手)



武野公昭 会員

「京都家族職場例会」

今回の職場例会は、私は3月まで西本願寺で法職しておりました時に、鶴田会長からお話があり、武野さんがおられる時にお参りをし、いろいろな施設も見せていただきたいとの事でした。その後4月に私がこちらに帰ることになった訳ですが。

広島空港ロータリークラブは、1994年4月9日に創立し、今年で23年目になります。ロータリーの職場例会ですから、ここまで一緒にロータリー活動をしてくださいました6名の物故者への感謝と御礼を込めて、本願寺の本堂において全員がお焼香し俵ばせていただき、これから頑張ろうという事で今回の職場例会を始めました。



阿弥陀堂（本堂）

宝暦10年(1760)再建。

東西42メートル、南北45メートル、高さ25メートル。中央に本尊阿弥陀如来の木像、左右にインド・中国・日本の念仏の祖師七師と聖徳太子の影像が安置されています。



飛雲閣

金閣、銀閣とともに京都三名閣の一つ。秀吉が建てた聚楽第(じゅらくだい)の一部ともいわれ、三層からなる楼閣

(ろうかく)建築です。

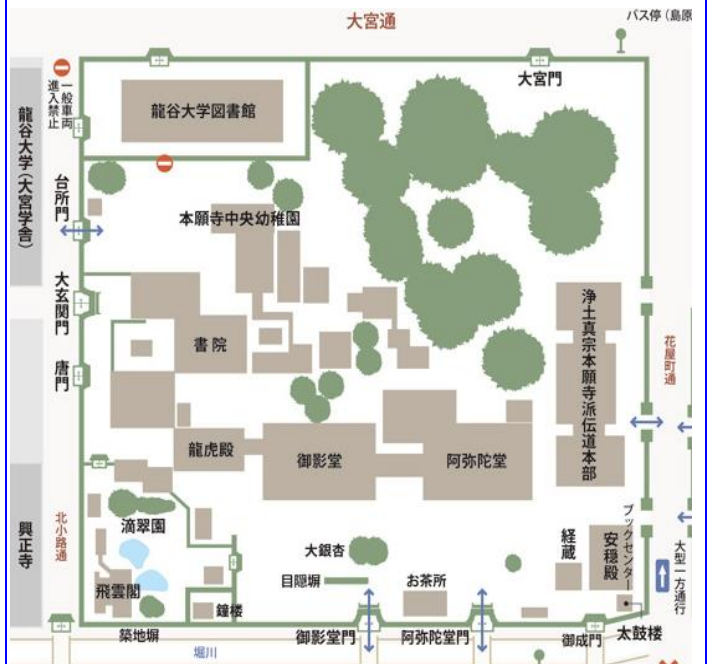
本願寺は、殆んど国宝になっています。佐々木さんのお嬢さんは熱心にずっとメモをとっておられました。

- | | | |
|-----------|-------------|---------|
| 国宝 阿弥陀堂 | 国宝 御影堂 | 国宝 唐門 |
| 国宝 飛雲閣 | 国宝 対面所(鴻の間) | 国宝 雁の間 |
| 国宝 菊の間 | 国宝 雀の間 | 国宝 白書院 |
| 国宝 黒書院 | 重文 南能舞台 | 国宝 北能舞台 |
| 特別名勝 虎溪の庭 | 重文 経蔵 | 重文 太鼓楼 |
| 重文 阿弥陀門 | 重文 御影堂門 | 重文 手水舎 |
| 重文 総門 | 重文 本願寺伝道院 | 重文 御成門 |
| 重文 目隠塀 | 重文 築地塀 | |

皆さんいろんな発見もされたようです。縁側や廊下にある埋木ですが大工さんがアートのように「瓢箪、蝶、富士、鷹、なすび」など、動植物などをかたどった木によって、節穴や亀裂



が埋めて修繕しています。常日頃気づかないところですが、これも大切な事なのです。私は、京都と河内を往復しています。福山からのぞみで行くので早くで便利がいいのですが、間の事は見ているが、通り過ぎるだけで見えてないのです。旅行だけではなく、生きていくときにそういうものに目が配れるか、言葉をかえれば足元をしっかりと見ながら歩ませていただきたい。



本願寺の敷地は大体400m四方です。バスの駐車場からは500mくらいはあると思います。澤井さんが測られたら、5.3km歩かれたようです。

お坊さんは、葬儀、亡くなった後の面倒を見るのが主流だろうと思いますが、僧侶は、共に生きていくために、相手に寄り添う。人間にはいろいろな場面があり、つらい時もあります。乗り越えた後の笑顔、いろんなしがらみの中でいろんなことがあるが、どこかで越えていくときに自分の心に問える自分の姿が出た時に、必ず誰かが自分のそばにいてくれる。私たちはその事を御仏とともに歩ませてもらうと言うのですが、家族の為に、何かを求めてなにかをしてあげるのではなく、無償の奉仕をする。いろんな場面で笑顔になるためにロータリーもお寺もあるのかなと思うのです。京都に行って改めて、うちのクラブは良いなと思いました。本当にこの度は良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。